



2025. 5.31 発行

No.69

■ 周年事業委員会からのお知らせ 企画委員長 亀井智子（聖路加国際大学）



**聖路加看護学会設立30周年を祝し、下記の行事を開催します。
皆様のご参加をお願いいたします。**

1. 式典 9月27日(土) 15時～

「聖路加看護学会30周年－発展の軌跡をたどる」

演者：小松 美穂子氏、太田 喜久子氏、山田 雅子氏、高橋 奈津子氏

司会：亀井 智子、飯岡 由紀子

2. 記念講演 9月27日(土) 15時40分～

「WHO の取り組みを通じた PCC（People-Centered Care:市民を中心としたケア）の理念と実践－その世界的な普及と課題－」(録画出演)

演者：芝田 おぐさ氏（WHO 西太平洋地域事務局） 司会：田代 順子

3. 記念シンポジウム 9月27日(土) 16時10分～

「People-Centered Care を創る－開発から実装への軌跡」

シンポジスト：菱沼 典子氏、高橋 恵子氏、中村 めぐみ氏、大久保 暢子氏、山下 悦子氏

座長：大田 えりか、高橋 恵子

4. 記念懇親会 9月27日(土) 18時～（聖路加国際大学 2 階ラウンジにて）

ビュッフェ・パーティーを行います。学会のこれまでやこれからについて、にぎやかに語らいましょう。懐かしい仲間との再会もあるかもしれません。飛び入りゲストに乞うご期待！



5. 30周年の記念品

30 周年の記念に残る品を用意しました。大会・懇親会参加者にお渡しします。

学会に関連する写真・メッセージ大募集中！

聖路加看護学会の 30 年を写真で振り返る企画を計画しています。お手元の聖路加看護学会のお写真をご提供いただけませんか。会員の皆様からの「一言メッセージ」も募集しています。 **期限: 2025 年 6 月 10 日**

【写真 提出先】



【メッセージ 提出先】



(担当：大田 えりか、奥 裕美、片岡 弥恵子、佐居 由美、高橋 恵子、田代 順子、三浦 友理子)

第30回 聖路加看護学会学術大会のご案内

「高度実践看護の未来を拓く－DNPの実装と普及－」

大会長 片岡 弥恵子（聖路加国際大学）

第30回聖路加看護学会学術大会の企画委員会では、開催に向けて鋭意準備を進めております。
4月より、演題登録、参加登録が始まりました。会員の皆さま、是非、ご登録ください！

● 演題登録の開始

演題登録では、研究発表と実践報告があります。聖路加看護学会は、看護実践の発展に向けての活動支援を精力的に行っております。実践での新たな取り組み、看護師・他職種からの評価、患者のアウトカム等ご紹介ください。

また、聖路加看護学会では、卒業研究等の看護学部最終学年に提出された論文を発表できることも特徴です。発表に向けては、担当教員と共にご準備ください。貴重な経験になります。

発表形式は、口演、示説（ポスター）を選ぶことができます。

優秀演題の表彰もありますので、ふるってご応募ください。

演題登録は、2025年4月7日～6月13日です。

演題登録QRコード



● 基調講演

基調講演は、馬屋原真佐子先生（Washington University School of Medicine, Division of Palliative Medicine）の「米国におけるDNPのコンピテンシー」です。

米国で活躍するDNPのコンピテンシーについて、実例を交えてご紹介いただきます。

● シンポジウム

「高度実践看護・DNPの未来を拓く挑戦」というテーマで、病院管理、看護管理、DNP、教育者の視点から、DNPの更なる発展に向けての戦略を議論します。

● ミニセミナー

ミニセミナーでは、DNPコース修了生による企画、「プロジェクトを支える教員による企画」、「プロジェクトにおけるEBIの理解」などの実践的なプログラムを検討しております。

第30回学術大会では、聖路加看護学会創立30周年記念行事も同時開催いたします。盛りだくさんのプログラムになっております。学会場で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



■ 学術交流委員会からのお知らせ

✿ 2024年度 学術交流集会を開催しました！

『地域包括ケアシステムの根拠となる理論』

講師：筒井 孝子氏（兵庫県立大学社会科学部研究科 教授）

2025年3月8日（土）13時～15時

今年度の学術交流会は、北海道から九州の全国に渡る地域から、84名（学会員：51名、非学会員：33名）の方にお申し込みいただきました。今年度はZOOM開催とし、さらにオンデマンド配信も実施しました。3/8（土）の開催当日は、55名の方（学会員：17名、非学会員：21名）がオンラインでご参加下さり、参加者の約4割は専門看護師・認定看護師・認定看護管理者、5割弱が教員という構成で、地域包括ケアシステムの理論的背景や今後の課題について共に学びを深めました。交流会開催後のアンケートでは、内容に「満足」と回答した参加者は9割を超え、地域包括ケアシステムに対する参加者の関心の高さが伺えました。

✿ おめでとうございます

2025年度看護実践科学研究助成基金 研究助成対象者決定！

1) 研究代表者：聖路加国際大学大学院看護学研究科修士課程 アルパ 朱里 氏

研究課題名：在留外国人ムスリム女性の乳がん・子宮頸がん検診受診に対する認識と障壁

2) 研究代表者：国立看護大学校 母性看護学・助産学 教授 池田 真弓 氏

研究課題名：NICU入院児をもつ母親の搾乳に伴う心身の反応の特徴-生体反応による評価-

● 研究助成を受けた研究の公表について

研究助成を受けた研究者は、定められた期限内に本学会学術大会での発表と学会への投稿が義務付けられています（看護実践科学研究助成基金研究助成細則）。本委員会では研究成果の公表状況を継続的にフォローアップしています。

（担当：梅田 恵、宇都宮明美、鈴木美穂、佐藤直子、中山祐紀子、松本文奈、山本真実、監物佳子）

■ 編集委員会からのお知らせ

この度、学会誌への投稿資格緩和に伴う投稿システム修正を行い、共著者に非会員を含む論文の投稿受付を開始いたしました。ただし筆頭著者は聖路加看護学会会員であること、共著者に非会員を含む場合は、採択後に1投稿論文あたり一律20,000円の掲載料を一括で納入いただきます。納入確認後、論文を掲載させていただきます。詳細はオンライン投稿システムをご参照ください。

国内外の研究者、様々な職種の方々や当事者の方々との協働研究や実践に取り組まれている皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

(担当：高橋奈津子、大坂和可子、飯田真理子、川端 愛、高山千春、三浦友理子、榎戸文子、加藤木真史、沢口 恵、蜂ヶ崎令子、山岡栄里)

■ 選挙管理委員会からのお知らせ

2026 年 6 月に聖路加看護学会理事の任期満了を迎えることに伴い、定款および評議員・役員選挙規定に基づき、理事選挙を行います。投票期間は、2025 年 10 月 25 日～11 月 9 日を予定しております。今回、被選挙人となられる評議員の皆様には、選挙告示を登録されたご住所に郵送いたします。つきましては、ご住所やご所属に変更がある場合は、2025 年 6 月末までにご連絡をくださいますようお願いいたします。引き続き円滑な選挙運営へのご協力をお願いいたします。

(担当：射場典子、相澤恵子、青木美紀子、浦口真奈美)

■ 庶務からのお知らせ

新年度をむかえ、新天地にてお忙しい時期をお過ごしの方もいらっしゃるかと存じます。ご所属、メールアドレス、ご連絡先などが変更となった方は、会員情報の変更を学会事務局までお知らせいただけますようお願いいたします。会員情報変更手続きには、学会ホームページの「変更届フォーム」をご利用ください。



<https://slnr.or.jp/change> または

そのほか、事務局への連絡は郵便、FAX、E-mail のいずれでも可能です。どうぞよろしくお願い致します。

(担当：五十嵐ゆかり、青木裕見、沖村愛子)

■ 広報委員会からの報告

聖路加看護学会のホームページのアクセス状況(2024年4月1日—2025年3月31日)について報告します。Google Analyticsの記録では、アクセス数は合計3,966で、前年度と同様に9月にピークがありました。特に学術大会当日が1日あたり76件のアクセスが記録され、年間最多となりました。それ以外の月では、おおむね日次10～30件の安定したアクセスです(図1)。

ページごとの閲覧数(表示回数)は、トップページが最も多く(3,247回)、次いで学術大会情報(2,144回)、第29回大会詳細ページ(1,267回)、学会誌紹介(1,081回)、入会案内(830回)の順です。また、検索サイトからの訪問が全体の81.7%(5,417件)と最も多く、次いでブックマークや直接URLを入力が13.7%(909件)、他のホームページからのリンクは約4%(262件)、SNS(XやFacebookなど)からの訪問は0.6%(37件)でした。これらの結果から、検索経由の訪問と会員等のリピーターによるアクセスが多いことがうかがえます。

そして、アクティブユーザーの国別分布(図2)をみると、3,754人(95.4%)が日本国内からの訪問者であり、米国からは110人(2.8%)、英国からは20人(0.5%)、その他の国からは51人(1.3%)の訪問がありました。これらから、日本語主体の情報設計を今後も維持することも重要ですが、英語圏からのアクセスも一定数確認されたため、今後は英語対応ページの整備が求められていると考えます。

(広報委員 飯岡由紀子、廣田千穂)

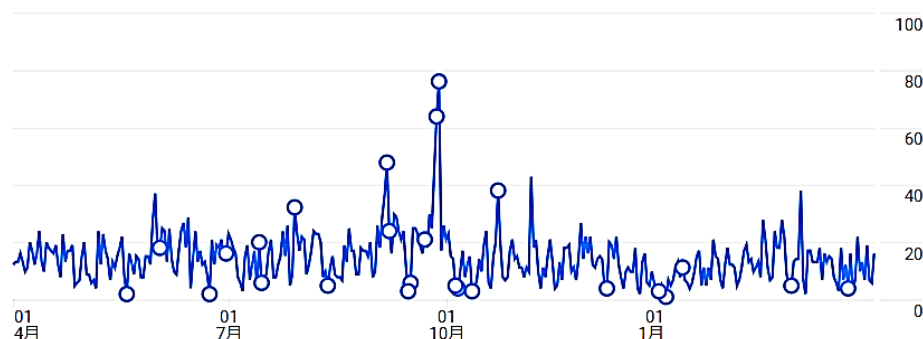


図1. 期間中(2024年4月～2025年3月)の1日あたりのユーザー数

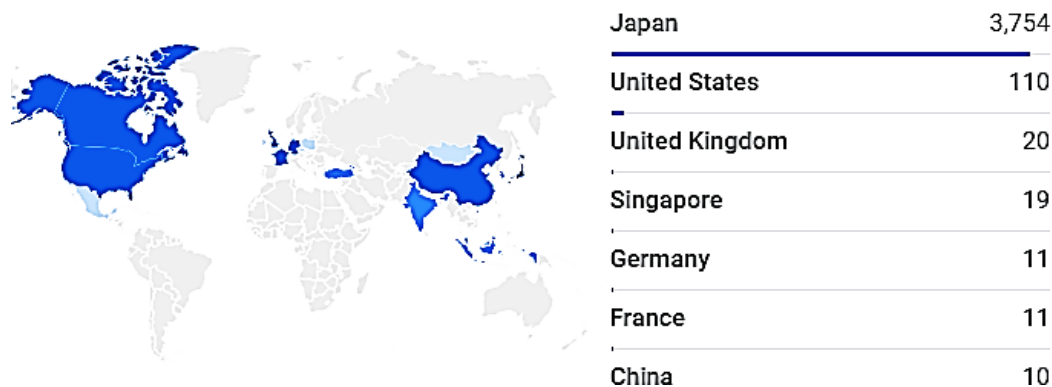


図2. 期間中(2024年4月～2025年3月)のアクティブユーザーの国別分布

■ 会計からのお知らせ

2025年度がスタートして、瞬く間に2ヶ月が経ちました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
今年度は本学会も記念すべき30周年を迎え、様々な催事が計画されています。2017年に本邦初のDNP教育課程を開設した聖路加ならではの学術大会企画など、興味深い内容が盛り沢山ですので、是非お誘い合わせの上学術大会にご参加ください。

学会活動は皆様の会費により成り立ちます。昨年度は大変多くの学会員の方が年会費を納入くださいましたこと、感謝申し上げます。本学会の規定では、3年間年会費を滞納された方は除名となります（その際にも未納入の会費の請求を行います）。

魅力ある学会をつくるために、ぜひ年会費納入へのご協力を引き続きお願いします。

振り込み先：郵便振替口座

口座番号：00100-8-670371

加入者名：一般社団法人聖路加看護学会

（担当：林 直子、亀田典宏、木村理加）

【 編集後記 】

いよいよ30周年記念行事、学術大会が近づいて参りました。普段は、専門領域の学術活動に励まれていることと思いますが、9月の本学会の記念行事、学術集会にて皆様にお会いできますことを楽しみにしております。今年も早いもので、もう半年が経とうとしています。もうすぐ梅雨ですが、築地川公園は真っ白な紫陽花が美しい季節に入ります。本ニュースレターでは、今後も本学会の活動を皆様にお届けいたします。

（担当：池口佳子、飯岡由紀子、海老原樹恵、賀数勝太、増澤祐子、廣田千穂）

ニュースレター発行や様々な情報をメーリングリストでお伝えします。

メールアドレスが変更された場合は、変更届フォームにて、<https://slnr.or.jp/change/>
学会事務局までご連絡ください

一般社団法人 聖路加看護学会ニュースレター No.69

- ▶ 発行：2025年5月31日
- ▶ 編集：広報委員会 （飯岡由紀子 海老原樹恵 賀数勝太 増澤祐子 廣田千穂 池口佳子）
- ▶ 連絡先：〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 聖路加国際大学内 [学会ホームページ]



学会ホームページ <https://slnr.or.jp/>